OLYMPUS

Your Vision, Our Future

過年度決算訂正および2012年3月期第2四半期決算の概要

2011年12月15日

オリンパス株式会社
取締役執行役員　コーポレートセンター　副センター長
川又　洋伸

過年度決算の訂正について

2011/12/15 No data copy / No data transfer permitted

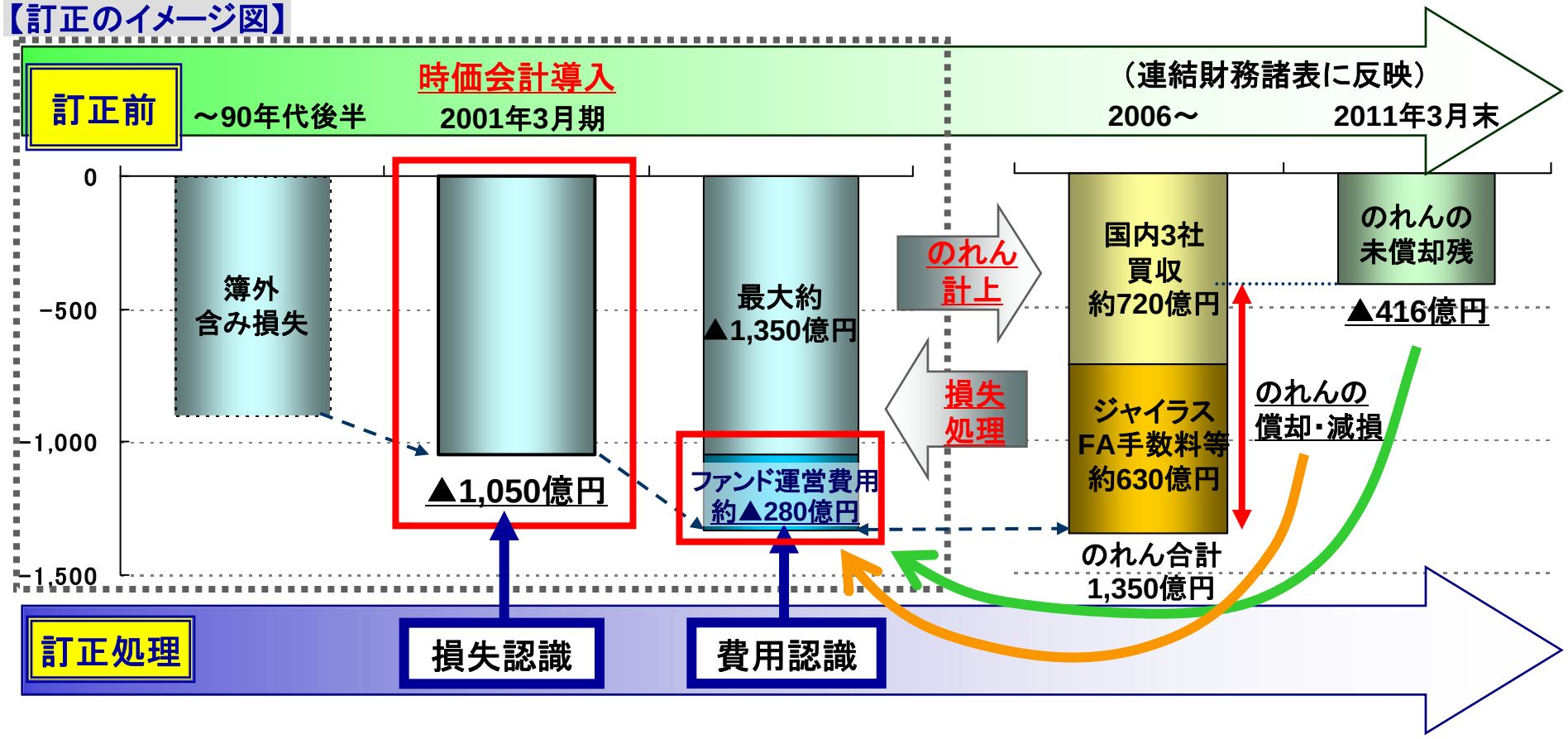
過年度決算訂正のポイント

- 損失処理スキームは、「簿外損失」を高額な買収・手数料による「のれん」に置き換え、償却していくというもの

【 訂正 】 ✓過去に簿外処理されていた損失を発生時に処理

✓その結果、「のれん」は存在しないことになる

【訂正のイメージ図】



2011/12/15 No data copy / No data transfer permitted

過年度決算の訂正①（PL – 訂正前後の比較）

（単位：億円）

過去に簿外処理されていた損失を発生時に処理した為、各利益ともに増加することになる
2006年3月期以前の損失処理累計額：1,184億円

		訂正前	訂正後	影響額	影響率（%）
2007年3月期	営業利益	987	987	0	0
	経常利益	762	783	+21	+3
	当期純損益	478	470	▲8	▲2
2008年3月期	営業利益	1,126	1,128	+2	0
	経常利益	931	973	+42	+5
	当期純損益	580	546	▲33	▲6
2009年3月期	営業利益	346	427	+81	+24
	経常利益	184	257	+73	+40
	当期純損益	▲1,148	▲506	+642	-
2010年3月期	営業利益	601	612	+10	+2
	経常利益	451	461	+10	+2
	当期純損益	478	525	+48	+10
2011年3月期	営業利益	354	384	+30	+9
	経常利益	221	232	+11	+5
	当期純損益	74	39	▲35	▲48

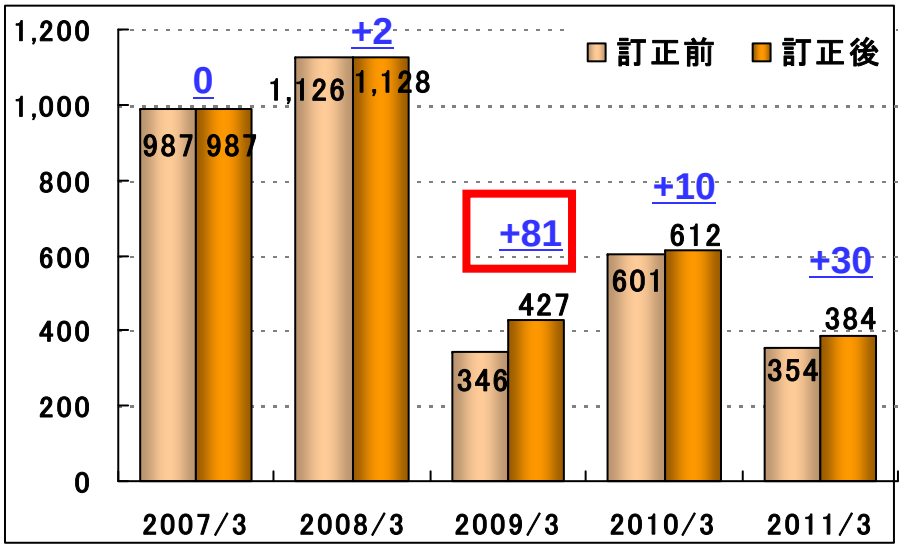
2011/12/15 No data copy / No data transfer permitted

過年度決算の訂正②（PL – 利益の推移）

（単位：億円）

■営業利益

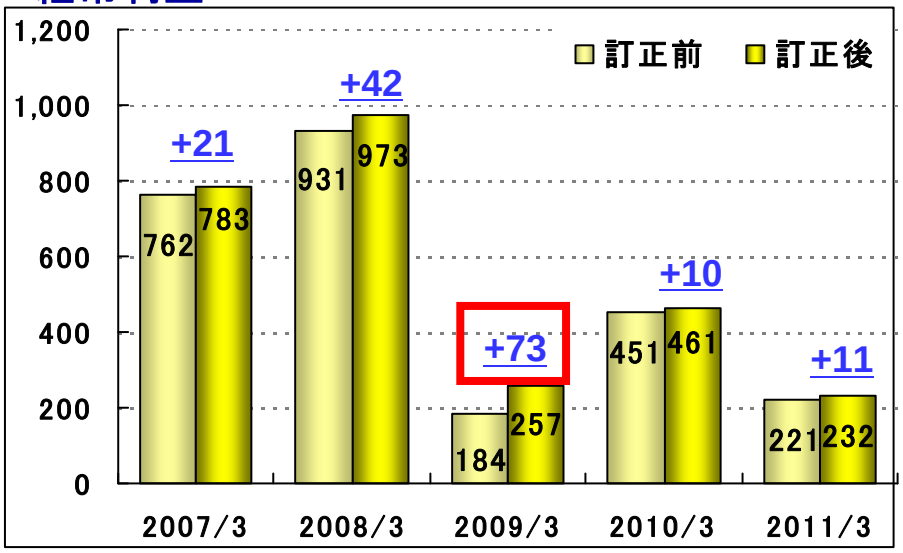
※下線青色数字は影響額



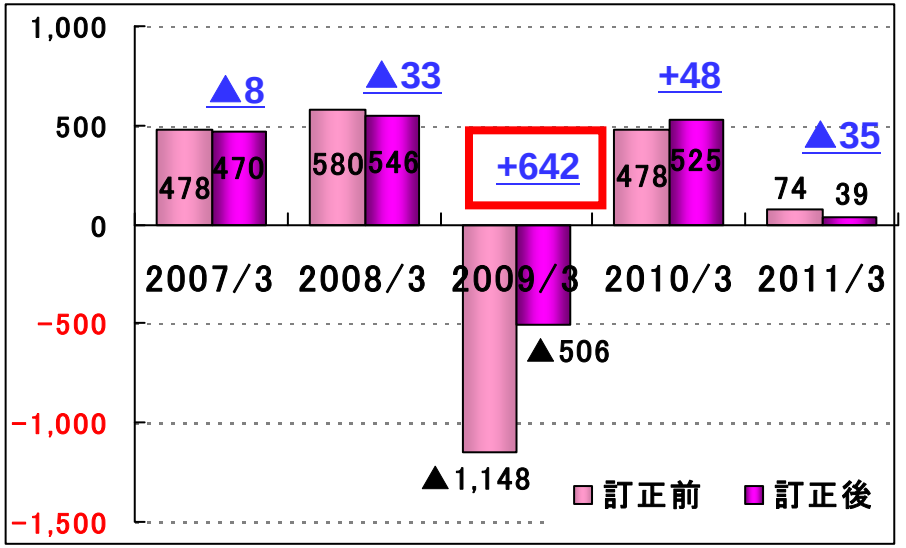
【ポイント】

- ✓ 営業利益、経常利益は増加。
  主な要因は国内3社ののれん償却を戻したことによる（2009/3）。
- ✓ 当期純利益（2009/3）は、国内3社の減損の戻しによる。

■経常利益



■当期純利益



2011/12/15 No data copy / No data transfer permitted

過年度決算の訂正③（BS – 訂正前後の比較）

（単位：億円）

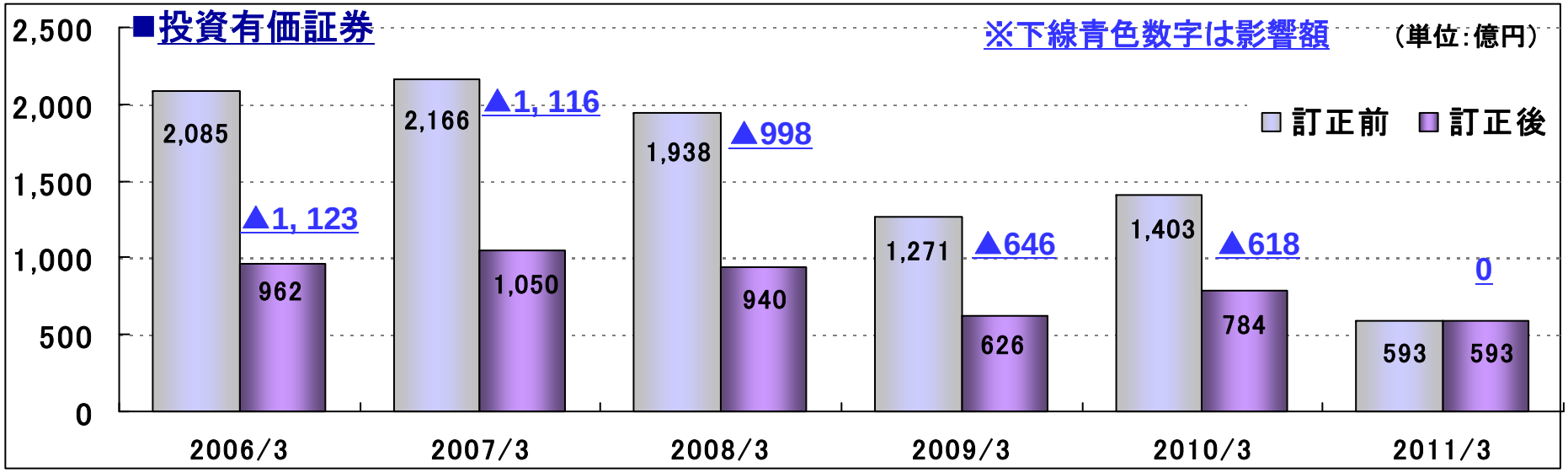
過年度における債務超過状態はない

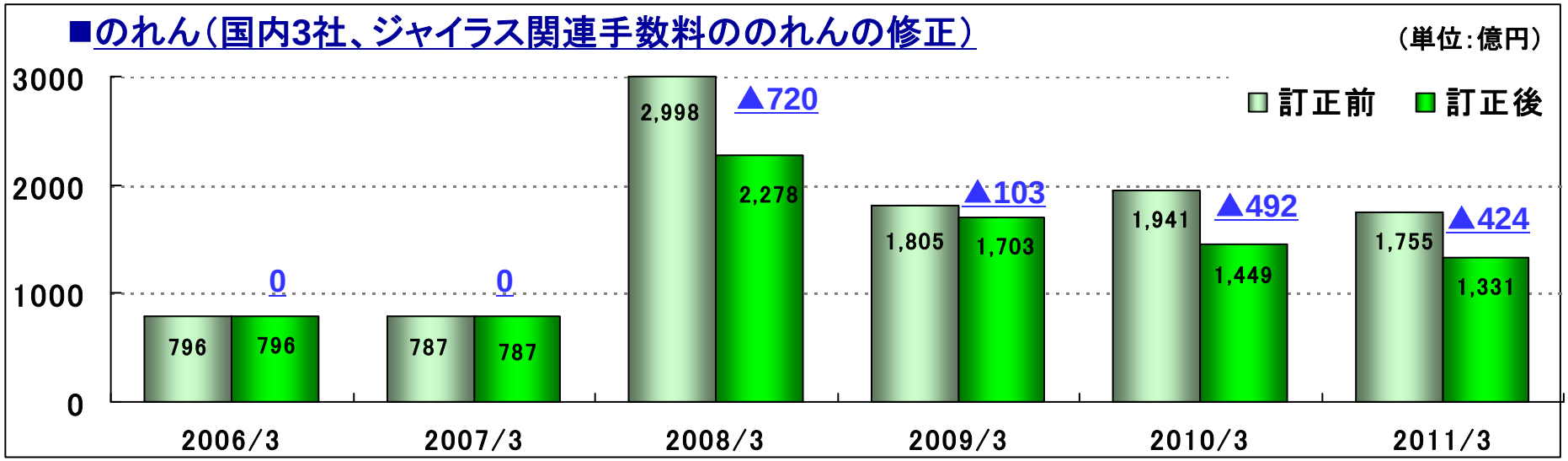
	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3
【 訂正前 】						
総資産	9,761	10,918	13,583	11,063	11,522	10,636
投資有価証券	2,085	2,166	1,938	1,271	1,403	593
のれん	796	787	2,998	1,805	1,941	1,755
総負債	6,758	7,469	9,905	9,375	9,353	8,968
純資産	3,003	3,449	3,679	1,688	2,169	1,668
うち、利益剰余金	1,539	1,911	2,378	1,104	1,682	1,704
【 訂正後 】						
総資産	8,886	10,027	12,172	10,383	11,045	10,192
投資有価証券	962	1,050	940	626	784	593
のれん	796	787	2,278	1,703	1,449	1,331
総負債	7,065	7,777	9,729	9,273	9,414	9,036
純資産	1,821	2,250	2,443	1,109	1,631	1,156
うち、利益剰余金	355	719	1,153	521	1,147	1,135
【 影響額 】						
総資産	▲ 875	▲ 891	▲ 1,411	▲ 680	▲ 477	▲ 444
投資有価証券	▲ 1,123	▲ 1,116	▲ 998	▲ 645	▲ 619	0
のれん	0	0	▲ 720	▲ 102	▲ 492	▲ 424
総負債	307	308	▲ 176	▲ 102	61	68
純資産	▲ 1,182	▲ 1,199	▲ 1,236	▲ 579	▲ 538	▲ 514
うち、利益剰余金	▲ 1,184	▲ 1,192	▲ 1,225	▲ 583	▲ 535	▲ 569

2011/12/15 No data copy / No data transfer permitted

過年度決算の訂正④（BS - 投資有価証券、のれんの推移）

損失分離に使用された投資有価証券とのれんの修正は、2011年3月末時点でほぼ解消

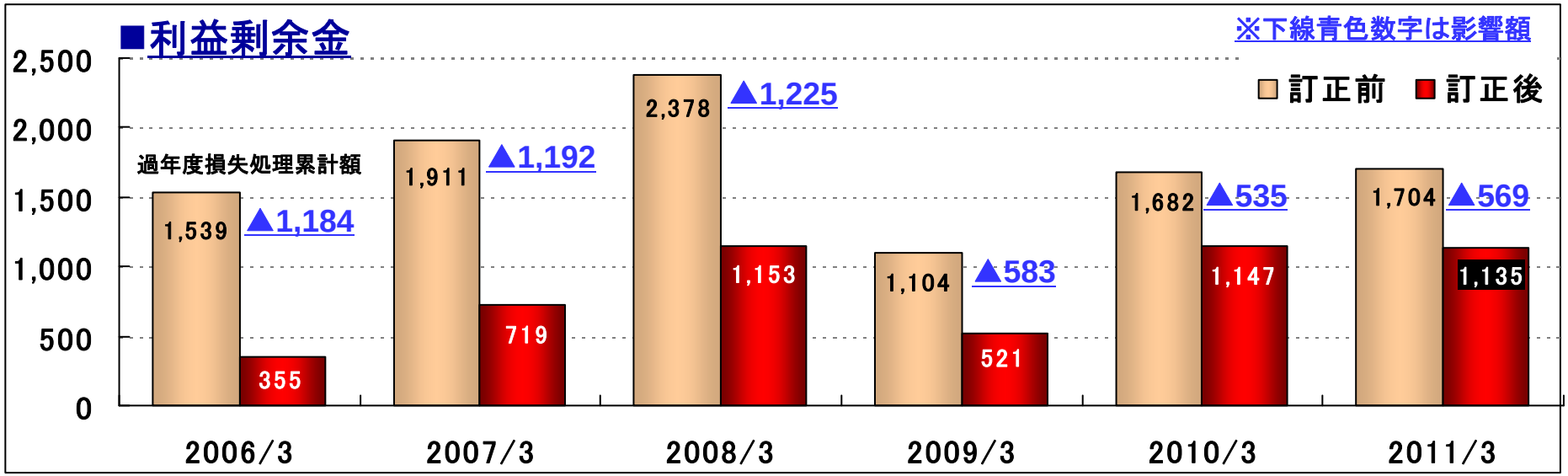


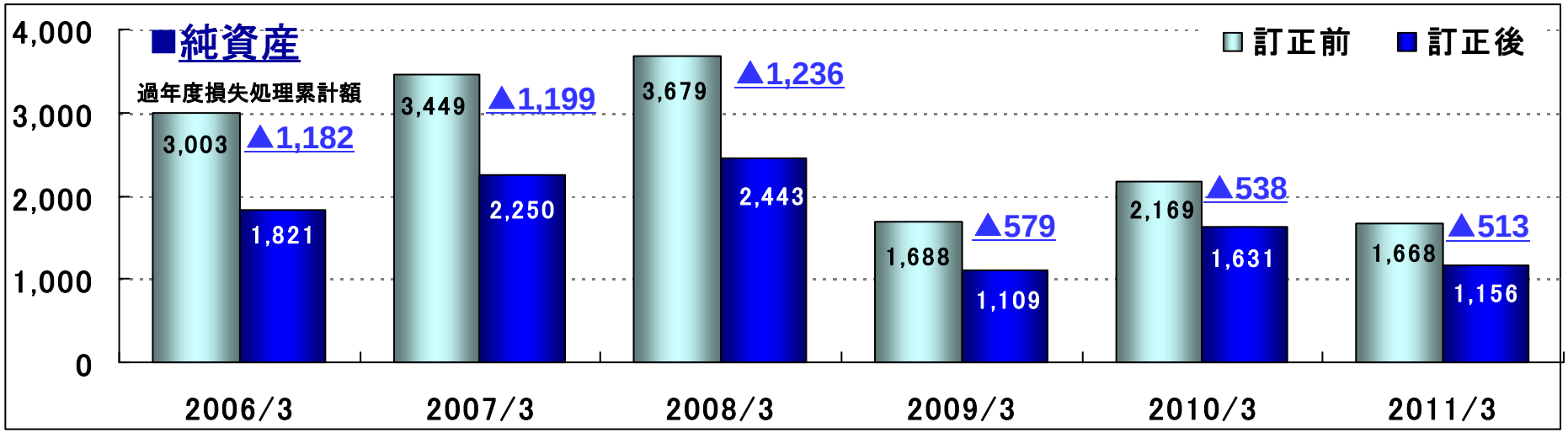


2011/12/15 No data copy / No data transfer permitted

過年度決算の訂正⑤（BS - 利益剰余金・純資産の推移）（単位：億円）

過去に簿外処理されていた損失を発生時に処理したことにより、利益剰余金・純資産の影響額は縮小





2011/12/15 No data copy / No data transfer permitted

過年度決算の訂正⑥（のれん残高の状況）

アルティス及びジャイラス買収により生じたのれんの影響額416億円は、
過去に簿外処理されていた損失を発生時に処理

（単位：億円）

	2011年3月末（訂正前）	2011年3月末（訂正後）	影響額	2011年9月末
Gyrus	1,353	963	▲390	857
ITX	232	232	0	229
アルティス	26	0	▲26	0
Spiration	30	30	0	26
Innov-X	31	31	0	28
Spirus	-	-	-	30
その他	83	74	0	47
合　計	1,754	1,330	▲416	1,217

（注）国内3社株式の取得により生じたのれんは、2009年3月期に大部分を減損処理済
（アルティス：196億円、News Cheff：176億円、ヒューマラボ：183億円）

2011/12/15 No data copy / No data transfer permitted

2012年3月期 第2四半期決算の概況

 No data copy / No data transfer permitted

2012年3月期 第2四半期累計　連結業績

- 為替や震災等の特殊要因を除くと実質7%増収、22%営業増益
- 期初計画（6月17日時点）との比較では、営業利益は約55億円の上ブレ

（単位：億円）

	2011年3月期（2Q累計）	2012年3月期（2Q累計）	前年同期比（%）	為替・震災等影響調整後前年同期比（%）*
売上高	4,173	4,145	▲ 0.7%	7%
売上原価 （売上原価率）	2,220 （53.2%）	2,250 （54.3%）	＋1.3% （+1.3pp）	---
販管費 （販管費率）	1,729 （41.4%）	1,720 （41.5%）	▲ 0.5% （+0.1pp）	---
営業利益 （営業利益率）	224 （5.4%）	175 （4.2%）	▲ 21.6% （▲1.2pp）	22%

【 為替影響額 】

米ドル	88.95円	79.82円	▲9.13円（円高）
ユーロ	113.85円	113.79円	▲0.06円（円高）
売上高への影響額	---	約▲130億円	---
営業利益	---	約▲20億円	---

（＊）「為替」「震災」「プリンタ事業譲渡」の影響を除いた前年同期比

2011/12/15 No data copy / No data transfer permitted

2012年3月期 第2四半期累計　セグメント別業績

為替や震災等の影響を除くと、実質的には全分野で増収

（単位：億円）

		2011年3月期 2Q累計	2012年3月期 2Q累計	前年同期比（%）	為替・震災等影響調整後(%)＊
医療	売上	1,754	1,638	▲6.6%	4%
	営業利益	361	284	▲21.5%	5%
ライフ・産業	売上	474	449	▲5.4%	16%
	営業利益	29	35	＋22.1%	111%
映像	売上	682	711	＋4.3%	8%
	営業利益	▲34	▲2	―	―
情報通信	売上	1,024	1,092	＋6.7%	7%
	営業利益	28	28	▲2.9%	―
その他	売上	239	256	＋6.9%	8%
	営業利益	▲18	▲34	―	―
全社・消去	売上	―	―	―	―
	営業利益	▲143	▲135	―	―
連結合計	売上	4,173	4,145	▲0.7%	7%
	営業利益	224	175	▲21.6%	22%

（＊）「為替」「震災」「プリンタ事業譲渡」の影響を除いた前年同期比

 No data copy / No data transfer permitted

セグメント別のポイント①（2012年3月期 第2四半期累計）

医療

- 為替の影響に加え、主力の消化器内視鏡（「LUCERA」シリーズ）が震災の影響を大きく受けたものの、これら特殊要因を除くと実質的には増収、増益となり、需要は引き続き好調。
- 外科・処置具分野では、膵胆管等の内視鏡治療に使用するディスポーザブルガイドワイヤや、ディスポーザブルマルチポート等の単孔式腹腔鏡下外科手術関連製品の販売が好調。
- ジャイラスとオリンパスの技術を融合した電気メスの新製品は、今年度中の投入を目指す。

ライフ・産業

- 為替およびプリンタ事業譲渡による影響を受け減収となったものの、主力の生物顕微鏡（「BX3」シリーズ）が販売を伸ばしたことにより、影響を除く実質ベースでは増収。
- 営業利益は、工業用顕微鏡など産業分野が好調に推移し、影響を吸収して増益を達成。

映像

- 7月以降、継続的に投入した第3世代のPENシリーズ（特に「E-P3」）が好調に推移したことや、販管費が減少したこと等により、収益が改善。
- 「XZ-1」などの高付加価値モデルのコンパクトは、欧州やアジアを中心に売上が増加

情報通信

- 販売チャネルの拡大に加え、スマートフォンやタブレット等、携帯電話の販売市場の拡大を背景に、販売が好調に推移。

2011/12/15 No data copy / No data transfer permitted

営業外損益・特別損益・法人税等（第2四半期累計）

資産の保守的減損、繰延税金資産の取崩し等が純利益に影響

（単位：億円）	2011/3（2Q累計）	2012/3（2Q累計）	前年同期比（%）
営業利益	224	175	▲22.3%
営業外収益	54	27	
営業外費用	86	107	
経常利益	193	95	▲50.8%
特別利益	3	1	
特別損失	62	162	
税金等調整前四半期純利益	134	▲66	
法人税等	94	256	
少数株主利益	2	1	
四半期純損益	38	▲323	

【2012年3月期 2Qのポイント】

- ✓ 特別損失　162億円　（うち、映像セグメントの減損損失116億円）
- ✓ 法人税等　256億円　（うち、繰延税金資産取崩し約190億円）

2011/12/15 No data copy / No data transfer permitted

貸借対照表（2011年9月末）

医療事業を中心に安定した利益を創出し、財務内容の改善を図る

（単位：億円）

	2011年3月末	2011年9月末	増減		2011年3月末	2011年9月末	増減
流動資産	5,335	5,243	▲93	流動負債	3,328	3,123	▲205
有形固定資産	1,413	1,224	▲189	固定負債	5,708	5,929	＋221
無形固定資産	2,060	1,888	▲171	（内：社債・長期借入金）	5,213	5,421	＋208
投資その他資産	1,383	1,157	▲226	純資産	1,156	460	▲696
資産合計	10,192	9,512	▲680	負債 純資産合計	10,192	9,512	▲680

純有利子負債 ：4,321億円

 No data copy / No data transfer permitted

OLYMPUS

通期連結業績の見通しと配当金について

【通期連結業績の見通し】

- 第三者委員会の調査結果を受け、今後の販売活動等への影響を精査する必要があるため、現時点では、平成24年3月期通期連結業績予想については未定とさせていただき、可能となった時点で開示いたします。

【配当金について】

- 2012年3月期の配当については未定としておりましたが、2011年12月14日開催の取締役会において、中間配当金については無配とさせていただく旨を決議いたしました。
- なお、期末配当については現時点では未定となっております。

 No data copy / No data transfer permitted

OLYMPUS

OLYMPUS

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

今後の当社の対応について

-経営改革委員会委員の決定及び臨時株主総会の開催等-

2011年12月15日

オリンパス株式会社

代表取締役･社長執行役員　高山　修一

経営改革委員会の発足

経営改革委員

河上　和雄（弁護士・元最高検察庁公判部長）

西川　元啓（弁護士・元新日本製鐵株式会社常務取締役）

蛭田　史郎（旭化成株式会社最高顧問）

（50音順、敬称略）

2011/12/15 No data copy / No data transfer permitted

経営改革委員会の発足

経営改革委員会への委嘱予定事項（骨子）

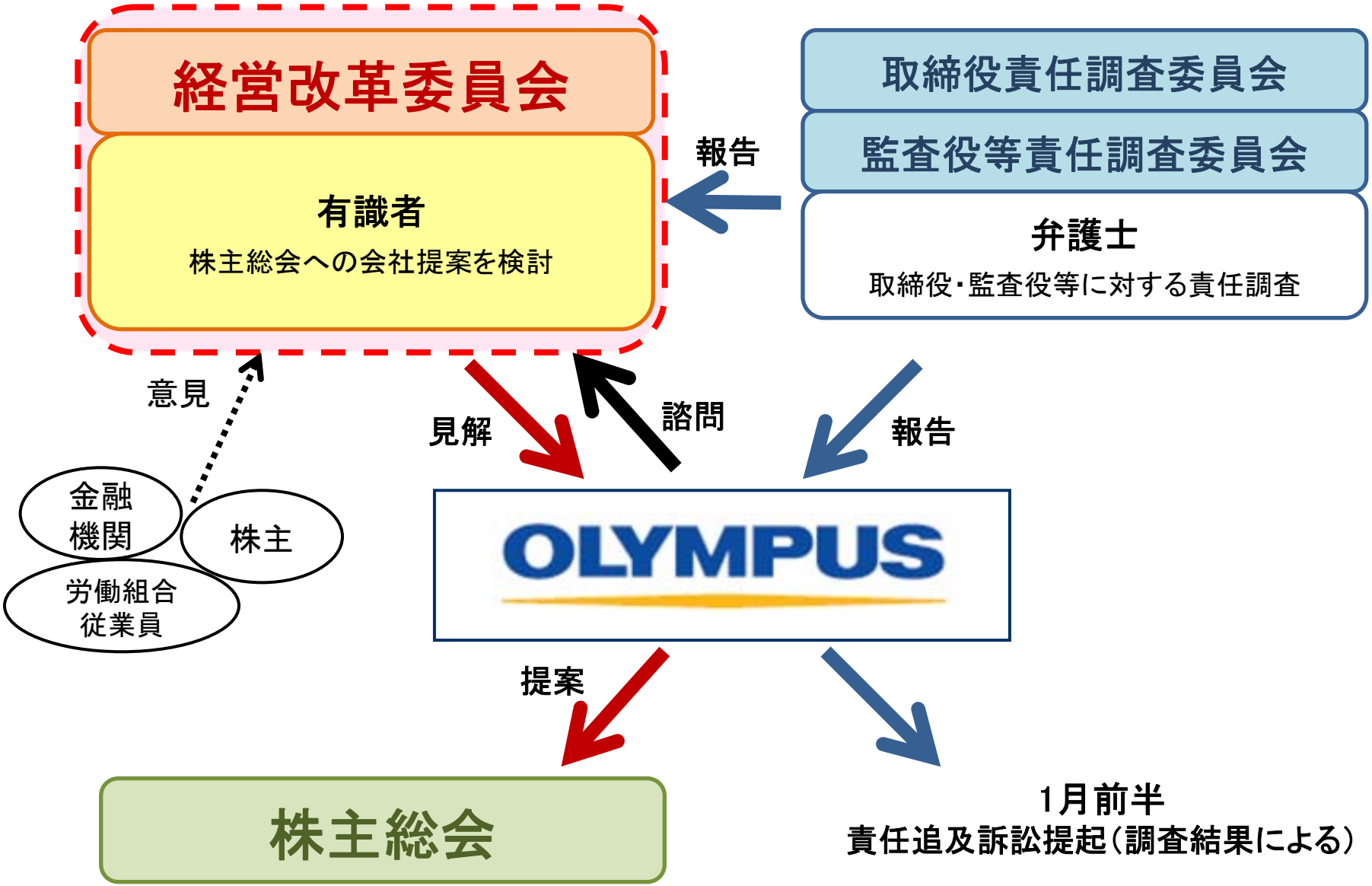
- 当社取締役会による、①経営体制の刷新、②ガバナンス体制、内部統制システム、及びコンプライアンス体制の見直し、③事業再建計画案の策定に関する重要決定事項（ご提案）について審査していただいた上、指導、勧告、及び答申をいただくこと

- 上記に当たって、株主、取引先、顧客、金融機関、従業員その他利害関係人の意見を聴取、集約、反映していただくこと

- 次回株主総会への当社提案について、事前に審議及び承認をいただくこと

2011/12/15 No data copy / No data transfer permitted

経営改革委員会の位置付け



2011/12/15 No data copy / No data transfer permitted

今後の予定と臨時株主総会について

- **2012年1月8日**
  - ✓ 取締役責任調査委員会の調査結果及び取締役に対する訴訟提起について当社方針を公表
- **2012年1月17日**
  - ✓ 監査役等責任調査委員会の調査結果及び監査役等に対する訴訟提起について当社方針を公表
- **2012年2月上旬**
  - ✓ 2012年3月期第3四半期決算発表
- **2012年3月～4月目処**
  - ✓ 臨時株主総会
- **2012年5月上旬**
  - ✓ 2012年3月期決算発表
- **2012年6月下旬**
  - ✓ 定時株主総会

2011/12/15 No data copy / No data transfer permitted
OLYMPUS

本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。

 No data copy / No data transfer permitted

OLYMPUS